# やさしい街

2018年
3月 No.224

**特集** あたらしい「さっぽろ市民福祉活動計画」策定中！

発行・編集　社会福祉法人札幌市社会福祉協議会

特集

# あたらしい「さっぽろ市民福祉活動計画」策定中！

社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会 常務理事　瀬川　誠

現在、平成30年度からの6年間を期間とする新たな『さっぽろ市民福祉活動計画』を策定しています。策定にあたっては、地域福祉関係者や学識経験者などによる策定委員会を設置し、策定作業を進めています。今回は、ほぼ、まとまりつつある計画の概要を紹介します。

## ■計画策定の趣旨

わが国では、少子高齢社会の到来、世帯の単身・核家族化、ライフスタイルの多様化などにより、高齢、障がい、子育て、生活困窮など、様々な課題を抱えた世帯が増えてきています。今後も、人口減少が進行し、さらに社会的に孤立する世帯が増えることにより、生活課題の解決が困難な世帯も増えていくと考えられます。こうした生活課題の中には、深刻化する前に、住民同士の相互の助け合いや交流、関係機関の連携により、防止することができる場合が多々あります。多くの人が助け合いの輪に参加し、地域の力を高め、結集することで、孤立のない、誰もが安心して暮らすことができるまち“さっぽろ”を実現できます。『さっぽろ市民福祉活動計画』は、誰もが安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指し、様々な取組みを計画的に進めていくために策定します。

▲計画策定委員会の様子

## ■計画の期間

平成30年度(2018年度)から平成35年度(2023年度)の6ヵ年とします。

行政計画である「札幌市地域福祉社会計画」と一体的に地域福祉の推進を進めていくために、札幌市の計画期間と連動させています。

## ■計画の視点

新たな『さっぽろ市民福祉活動計画』は、既存制度では解決できない課題を抱えた世帯、専門的な支援が必要な課題を抱えた世帯、複数の課題を同時に抱える世帯の解題解決に視点を置き、基本理念、基本目標に基づき、6つのアクションを行うこととしています。

**基本理念**

**みんなが主役！お互いに支え合うやさしいまちづくりに向けて**

**基本目標**

**地域を基盤とするコミュニティソーシャルワーク機能※の強化**

※コミュニティソーシャルワーク機能とは下記の3つの機能です。

①地域支援：新たなサービスの開発、住民主体による地域課題の解決力強化・体制づくり

②個別支援：支援を必要とする人に寄り添った課題の解決

③支援の仕組みづくり：分野を超えた専門職等の連携による包括的な相談・支援体制づくり

## ■6つのアクション

基本目標を達成するため、様々な地域課題への市民の共感を高め、課題に主体的に関わる人材を育成し、多くの人々を互いにつなげ、複雑・多様化する課題を支援する仕組みづくりに取り組みます。また、社協組織を強くし、新たな課題にチャレンジします。

### 共感する

地域福祉や地域課題への関心を高めるため、福祉教育や地域課題を知ってもらう活動に取り組みます。

○児童・生徒・学生への福祉教育
○一般への福祉教育

### 育成する

札幌の地域福祉力を高めるため、福祉専門職の育成と市民のボランティア活動への参加促進に取り組みます。

○地域の担い手の育成
○福祉人材（専門職）の育成

### つなげる

課題認識の共有と課題解決力の向上のため、地域の人と人、人と団体、団体と団体などをつなげる事業に取り組みます。

○地縁組織の連携
○市民同士の連携
○多様な機関・団体との連携

### 支援する

多様化する課題に対し、福祉専門職と市民が連携する、包括的な相談・支援に取り組みます。また、災害時に備えた体制づくりにも取り組みます。

○見守り・訪問活動の推進
○交流・生きがいづくりの推進
○生活支援（家事、除雪、子育て、外出など）
○権利擁護の推進
○介護予防の実施
○介護・看護（高齢者、障がい者等）サービスの実施
○災害ボランティアセンターの設置・運営

### 組織を強くする

より多くの方々に地域課題に対する共感を促し、地域福祉活動への参加（実際の活動や寄附など）に結びつけ、活動の基盤（組織）の強化に取り組みます。

○企業・団体との連携
○寄附・賛助会員制度のＰＲ
○広報活動の強化

### チャレンジする

新たな課題に対応するための、新たな仕組みを検討し、実際の活動に結びつけます。

○コミュニティソーシャルワーク機能の強化
○新たな市民参加の仕組みづくり
○権利擁護支援の地域連携ネットワークづくり
○新たな相談支援体制づくり

計画を実行するためには、多くの方々の理解と協力が必要です。今後、広く皆様からのご意見をお聞きし、策定を進めます。是非、ご意見・ご要望をお聞かせください。完成した計画は、４月以降、ホームページなどでお知らせする予定です。

この記事へのお問い合わせは
総務課へ

# さっぽろの福祉最前線

## 学生が地域とつながるには ―まちづくりに参加する学生

林　恭裕 氏　北翔大学　生涯スポーツ学部健康福祉学科　教授

### ＮＰＯ法人Efy（エフィ）の誕生

私は、市内３つの大学の学生が中心となって生まれた特定非営利活動法人Efyに関わっています。Efyは、天使大学の栄養学科の学生が代表となり、天使大学、北海道大学、大谷大学の学生によって運営されています。以前から子どもや学生などに対する食と学びに関する活動を展開し、「子ども食堂」的な活動を本格化するために、昨年の６月に法人格を取ったものです。

Efyの活動は、「食と学びにワクワクを」のスローガンのもと、食を切り口として、今を生きる子どもたちが社会経験や成功体験を積むことのできる場作りを行っています。活動の中で食に関して特に大切にしていることは、「日本人らしい食生活」を子どもに伝えることです。ご飯と味噌汁さえ作れれば、どうにか生きていけることを体現するように、子どもたちと一緒に味噌汁づくりを行っています。一緒に鰹節を削るところから始め、昆布と鰹の合わせ出汁をとって、少しずつみんなで完成させていき、その過程で協調性を培い達成感をもたらします。

### 点から地域へ

プログラムは現時点で大きく分けて２つあり、子どもがカフェ店員になりきり地域住民をおもてなしする「りらカフェ」と、地域人材の活用を兼ねた子どもの学びの場「いろは塾」です。

活動を始めようとしたときに学生たちが戸惑ったのは、活動しようとする地域の実態をどのようにして把握したらよいのか、子どもたちや地域の住民にどのように働きかけるか、といったことでした。

そうした中で、天使大学の先生から私に協力依頼があって、学生たちと関わることになりました。学生ボランティアは、どちらかというと点と点の活動が中心です。社会福祉施設からの依頼や、地域の障がいのある人からの依頼に応えていく、といったように、地域とのかかわりを意識しない活動をすることが多いと思われます。また、学生自体も町内会活動や地域を意識することもなく育ってきています。Efyの学生たちも同じで、福まちも社協も知らないというのが実態でした。

### 地域とつながる

そこで、まず地域を知ろうということで東区社協を学生たちと訪問し、東区や天使大学がある北光地区の現状について学びました。その後、学生たちは積極的に福まちの関係者や町内会関係者とお会いし、地域で活動する人々とつながることができました。そうした中で、当初いわゆる「子ども食堂」的なイメージであったものを、子どもだけではなく地域の多様な人たちの居場所的な機能もあわせ持つものを考えるようになってきました。

▲Efyの活動の様子

### 地域活動への参加をすすめるには

学生は、ボランティア活動への志向は強いですが、その多くは、地域というよりは社会福祉施設や障がいのある人への個別的な支援といった傾向にあります。その要因は、地域からの働きかけが少ないことにあるのではないでしょうか。学生も地域住民の一員として、地域の活動に参画することに抵抗があるわけではないと思います。学生の地域活動への参加をすすめるには、学生が地域に関心を持つ機会をつくり、福まちなどの地域福祉活動の情報を届け、さらには学生たち自身が地域で活動する具体的なイメージが描けるような支援をすることです。社協にしても福まちにしても学生たちにどのような情報発信をしていくか、ということが問われるのではないでしょうか。

北翔大学
江別市文京台23番地
TEL 386-8011

# デザインのチカラで輝け！みんなの可能性

長谷川　演　氏　㈱アトリエテンマ 代表取締役

**障がい者のためのデザインワークショップとは…本会の企業賛助会員である㈱アトリエテンマとの連携事業として、企業の社会貢献を応援するかたちで開催しました。**

人は誰もが才能を持ちこの世に生れ落ちます。その才能をどう見つけ、育て、開花させるか。それはとても難しく大変なことであり、かつ楽しくも成長を喜べる人生の醍醐味でもあります。方法はそれぞれ。100人いれば100通りのやり方があり、見えないだけに、それを見つけることそのものが人生の目的ともいえるかもしれません。

## 「デザインの力」を使って

デザインにはたくさんの力があり、今、その使い方も多方面へ深く広く浸透してきています。

今年で3回目となる「障がい者のためのデザインワークショップ」は、そんな「デザインの力」を使った自分の持つ可能性発見の時間、新たな未来へ向け一歩視界を広めるチャレンジでもあります。

▲いろんな素材がアイデアを生みます

## 「障がい者のためのデザインワークショップ」

初年は「ライトスタンドデザイン」、2年目は「陶芸で花器をつくり花を活けよう！」、そして3年目は「フォトフレームデザイン」。

そんなデザインの授業も始めてみれば単なる工作の時間？（笑）的な軽い入口からスタート。ドキドキワクワクの始まりです。そしてやるほどに「デザイン」の面白さに気付いてゆきます。そんな、デザインのメリットは3つあります。

ひとつめは新しいこと。それは今までやったことのない新鮮なチャレンジで初めてゆえの上手い下手はなく、皆平等からのスタート。誰もが不安半分でゼロから考え、試し、作り上げてゆく過程は楽しいスイッチが入ります。

ふたつめは答えがひとつではないところ。自由です。「デザイン」の行きつく先は多岐に及びます。目的、機能、対象、シチュエーションetc。様々な要素によって答えは変化し、真剣に取り組めばどれも正解。間違いという結果にはなりません。

最後のひとつは、素材から考えられること。手を動かし、リアルに作品を作り上げる仕事は既存の頭の中を軽く超える「もの」の力も加わります。イメージ出来る人も出来ない人も、多くの素材を目の前にして行きたい方向へ向かった時に驚く化学変化が生まれます。そして誰もが夢中になり没頭していきます。

◀発想豊かなアイデアで手が止まりません

「作りたい！」そう思う瞬間が作品のクオリティを自然に引き上げてくれるのです。そんな「デザインの力」を使ったワークショップ。才能の目を探し、未来へ進む入口を見つける。そしてそのドアを開けるためのシゲキいっぱいの時間。

才能を見つけるためにはまずは本気のスイッチを入れる事。そのためにも最適な取組み。

完成した作品は▶
みんなの自信作です

「デザインの力」、使ってみませんか？

小さな挑戦が大きな実を結ぶかもしれません。

株式会社アトリエテンマ
札幌市中央区北7条西19丁目momijiビル
TEL 222-8888

# お知らせピックアップ

## 在宅での生活を支える社協事業

「いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けたい」そんな思いに応える社協の支援があります。ケアマネとヘルパーが支える、夕暮れのひとときをご紹介します。

### 12月11日

**―こんばんは。お邪魔します。**

**マリアンさん「どうぞ。寒かったでしょう」**

今日は『総合支援センターえがお』の小田ケアマネジャーが市内にお住まいの阿部マリアンさん(67歳)のお宅に定期訪問です。

**―お変わりないですか？**

**マリアンさん「変わりないですよ。お蔭様で」**

ケアマネジャーは自宅で生活を続けたいという利用者様のお気持ちに沿ってケアプランを作成します。計画通りにケアが出来ているか、月１回自宅にお伺いして確認しています。

マリアンさんとは平成17年からのお付き合いです。数年前にご主人を亡くされ寂しい思いもされましたが、在宅スタッフの変わらない支援が続いています。遠く故郷アメリカでは99歳のお父様が93歳のパートナーと生活されているそうで、今も頻繁に手紙を送っています。

◀ケアマネジャーと面談

**マリアンさん「交代になってヘルパーさんは最初ぎこちなかったけど、慣れてきたので大丈夫です」**

**―先月は少し支援計画の変更がありましたね。**

**マリアンさん「歩行器を買い取りしたから前より支給限度額のことでハラハラしなくなったわ」**

介護保険は要介護度によって支給限度額が決まっておりその管理をするのもケアマネジャーの仕事です。

**―先生の往診は○月○日でしたね。**

**マリアンさん「そう。今は見た目落ち着いているし、精神的に先生に診て貰っているから安心する」**

特殊寝台と特殊寝台付属品の不具合、使用状況も確認。

**―ギシギシしてないですね。**

**マリアンさん「看護師さんとリハビリしています。何とかね(笑)」**

その後、馴染みの教会の方とのクリスマス交流についての歓談。

**「ではまた来月に。よいお年を」**

### 12月15日

ヘルパーが来る日。手元には今日ヘルパーにお願いすることのメモがあります。

**マリアンさん「時間が限られているからこうして事前にメモして待ってます」**

この日は灯油缶の残量確認からスタートです。

**ヘルパー「そろそろ購入ね。灯油屋さんに連絡しなくちゃね」**

◀ヘルパーと献立を相談

自分である程度取りまとめておいた寝室のゴミは所定の場所に保管。それからシンクに残っている食器を洗い食器棚へ収納。知人から頂いたパンをヘルパーが切り、マリアンさんがラップに１回分ずつ包みます。

**マリアンさん「こうしておくと食事準備がしやすいの」**

それから冷蔵庫の在庫をヘルパーから説明を受け、ホットシナモンアップルジュースを作ることに。でもちょっと分量が足りなくてヘルパーに買い物を依頼。戻ってくると、早速ジュース作りに取り掛かります。鍋にアップルジュースを注ぎ、マリアンさんが適量のシナモンを注ぎ入れ泡だて器で混ぜ、ヘルパーがガス台で温め完成。最後の掃除は、マリアンさんとヘルパーが協力して行います。目まぐるしい中でもコミュニケーションを図りながら、一人で出来る動作をサポートして自立を促します。

**「では来週の月曜に。よいクリスマスを」**

あっという間の一時間でした。

現在、マリアンさんは訪問診療、訪問看護、週５回のヘルパーと福祉用具を利用しながら生活をしています。

この記事へのお問い合わせは
介護事業課へ

# 各課からのお知らせ

## サロンですすめる！見守り・支え合う地域づくり

### ■ 充実したシニアライフのために！ふれあい・いきいきサロンをはじめてみませんか？

少子高齢化・単身化が進む中、家に閉じこもり気味だったり、誰とも会話することなく一日を過ごしている方が増えているのではないでしょうか。サロンは地域の方々が集い、交流をすることで仲間づくり、生きがいづくりにもつながる活動です。充実したシニアライフを過ごすために、町内会や自治会、マンションなどの福祉活動として、サロンをはじめてみませんか？

### ■ 町内会・自治会の福祉活動としてサロンの取組みが広がっています！

白石区白石東地区の栄自治会では、福祉推進委員会が平成27年から見守り活動の一環として、「いきいき・栄・健康サロン」を立ち上げました。サロン代表の山本さんは、福祉推進委員会の事務局長でもあります。

サロンを始めたのは、高齢化により一人暮らしのお年寄りが増え、民生委員・児童委員だけではきめ細かい支援が難しくなってきていることから、自治会でも見守り訪問活動をすると決めたことがきっかけでした。

参加者は自治会の70歳以上の一人暮らしの方で、月に4回おしゃべりを中心に、カラオケや手芸、麻雀など多彩なメニューで楽しんでいます。

### ■ 栄自治会の取組みから、サロンの効果あれこれ

①サロンで定期的に交流することで、参加者同士が仲良くなり、自然な見守りが行われます。

②栄自治会では、見守り訪問活動を週に1回の頻度で行っています。また、サロンでは、台帳で参加者が来ているかどうかの確認をし、欠席が続くなどの場合は安否確認をするようにしています。訪問と交流の2つの方法を取り入れて、きめ細かい見守りをすすめています。

③サロンでは大学生が参加者にパソコンの指導をしています。異世代交流・学びの場としてもサロンが役立っています。

④サロンの開催日をお知らせするカレンダーを作成し、自治会のメンバーに手渡しをしています。地域から孤立する人をなくすために、自治会内の住民がいつでも、誰でも交流の場に参加できるようにしています。

▲おしゃべりを楽しむ代表の山本さん(左)と参加者の皆さん

▲自治会員の名簿(左上)や行事がまとめられたカレンダー

サロンには地域の福祉力を高める効果があります。サロンに取り組んでみたいという方は、お住まいの区の社会福祉協議会へお気軽にご相談ください。

この記事へのお問い合わせは
地域福祉課へ

# 平成30年度「ボランティア活動保険」加入・更新手続きについて

「ボランティア活動保険」とは、ボランティア活動中の事故により、ボランティア自身がケガをしたり、他人に損害を与えたことにより賠償問題が生じた場合に補償する保険です。現在、ボランティア活動保険に加入されている方は、平成30年3月31日（土）で保険期間が終了します。

4月1日（日）以降もボランティア活動を継続される場合はお忘れのないよう、更新手続きをお願いします。

新年度への更新手続きは、平成30年3月9日（金）より開始しますので、ボランティア活動センターまたは各区社会福祉協議会において、手続きをお願いします。

介護サポーターとして登録をされている方は、当センターにて手続きを行います。また、所属団体が一括して更新手続きをされる場合もありますので、団体に所属されている方は更新方法をお確かめのうえ、更新手続きをお願いします。

この記事へのお問い合わせは
ボランティア活動センターへ

# 平成30年度　年間研修カリキュラム

ボランティア活動センターでは、多様化する福祉ニーズと高まるボランティア活動への期待に応えるため、年間をとおして様々なボランティア研修やセミナーを開催しています。

このたび、平成30年度の年間カリキュラムがまとまりました。例年人気の傾聴、絵本の読み聞かせ、朗読研修をはじめ、手話、各種障がい理解、車いす研修など、様々な活動場面に役立つ『ボランティア研修』のほか、簡単レクリエーション・脳トレーニングなどのサロンで活かせるメニューを学ぶサロン研修や、地域の取組事例を実践者から直接聴く研修など、地域活動を行う方のための『地域活動者研修』もあります。

「平成30年度研修予定一覧」をボランティア活動センター等で用意していますのでご覧いただくか、お問い合わせください。200を超える各種研修と、それを担う講師陣が、あなたのボランティア活動を応援します。

▲屋外で段差の練習

▲知的障がいの方と触れ合う研修

この記事へのお問い合わせは
ボランティア活動センターへ

# 老人福祉センター介護予防自立支援事業

平成29年12月から平成30年3月まで「札幌市介護予防自主活動化支援事業」と「生活機能向上支援事業」の実施をしています。

●札幌市介護予防自主活動化支援事業

現在、地域において介護予防活動を行っている方に参加してもらい、理学療法士等の指導のもと活動の中心的人物の育成を図り、各老人福祉センターにて地域住民が主体的に行うことができる介護予防体操の指導を行い、継続を目標としています。

●生活機能向上支援事業

日常生活に必要な家事能力を維持、または向上させ、日常生活の活動性を高めると共に、生きがいづくりや自立した生活の継続を支援する事を目標としています。

この記事へのお問い合わせは
施設福祉係へ

# お知らせ よろず箱

## 介護サポーター研修

「介護サポーター」として登録するための研修です。ボランティア活動をとおして、地域でいきいきと活動し、自身の介護予防につなげていただくことを目的としています。受入施設で活動を行うと、活動時間に応じてポイントが付与され、申請により換金することができます。事前に電話でお申込みください。持ちものは、ピンクの介護保険被保険者証と、黒のボールペンです。

○日　時　4月19日(木)、5月9日(水)(いずれか1日)
　　いずれも14時00分～15時30分
○場　所　札幌市社会福祉総合センター　4階研修室
○対　象　65歳以上の札幌市民で要介護認定を受けていない方
○費　用　無料
申込・問い合わせ:ボランティア活動センター

## 認知症サポーター養成講座のお知らせ

認知症の方が地域で安心・安全に暮らせるよう認知症ケアを学び、理解者・支援者となる「認知症サポーター」を養成します。

講座は、札幌市介護保険課に登録しているキャラバン・メイトが講師として全国統一のテキストをもとに展開いたします。修了者には、認知症サポーターの証となる「オレンジリング」を差し上げます。

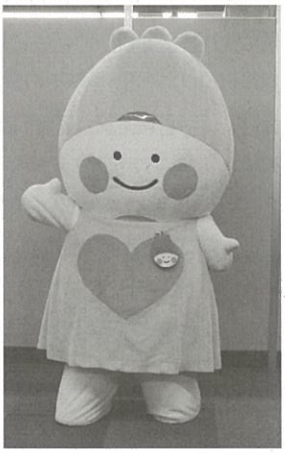
○日　時　①4月13日(金) 13:30～15:00
　　②5月22日(火) 10:00～11:30
※毎月1回の実施を予定しております。
場所:社会福祉総合センター　4階研修室
○対　象　関心のある方　○費　用　無料
申込・問い合わせ:ボランティア活動センター

## まもりんツイッター更新中

マスコットキャラクターのまもりんが社協に関する情報を日々発信しています。

ユーザー名:mamorin93

問い合わせ:総務課



## アトリウムイベント

社会福祉総合センター1階アトリウムでは、ちょっとためになる講座や様々な催しを開催中です。

【知っ得く　ひろば】
高齢者が安心して生活するために必要な知識を学びます。
○日　時　毎月第1・3火曜日　11時00分～(30分程度)

【やさしさっぽろ手話講座】
あいさつや季節の表現など、楽しみながら簡単な手話を学びます。
○日　時　毎月第2・4火曜日　11時30分～(30分程度)

【てづくりマーケット】
雑貨やお菓子の販売を行っています。
○日　時　月・水・金曜日(祝日を除く) 11時00分～14時00分

問い合わせ:総務課

## 読書通帳を配布しています

情報センター資料室では、読んだ本を記録する「読書通帳」を配布しています。

読了日、作者名、タイトル、本の評価を記入できるようになっていて、自分の読書の道のりが一目でわかります。

大人用と子ども用それぞれ40冊版と80冊版があります。

1冊使い切った方にはオリジナルしおりなどの記念品を差し上げます。

問い合わせ:
情報センター資料室

## 社会福祉総合センター保全工事に関するお知らせ

札幌市社会福祉総合センターでは平成30年度に大規模な保全工事を行います。工事期間中は会議室などが利用できませんのでご了承ください。

○工事期間　6月1日～平成31年3月31日
○工事期間中に閉鎖するもの:
　アトリウム、元気カフェふらっと、第1～3会議室、視聴覚兼会議室、特別会議室、大研修室、運動浴室、正面玄関、前庭、駐車場

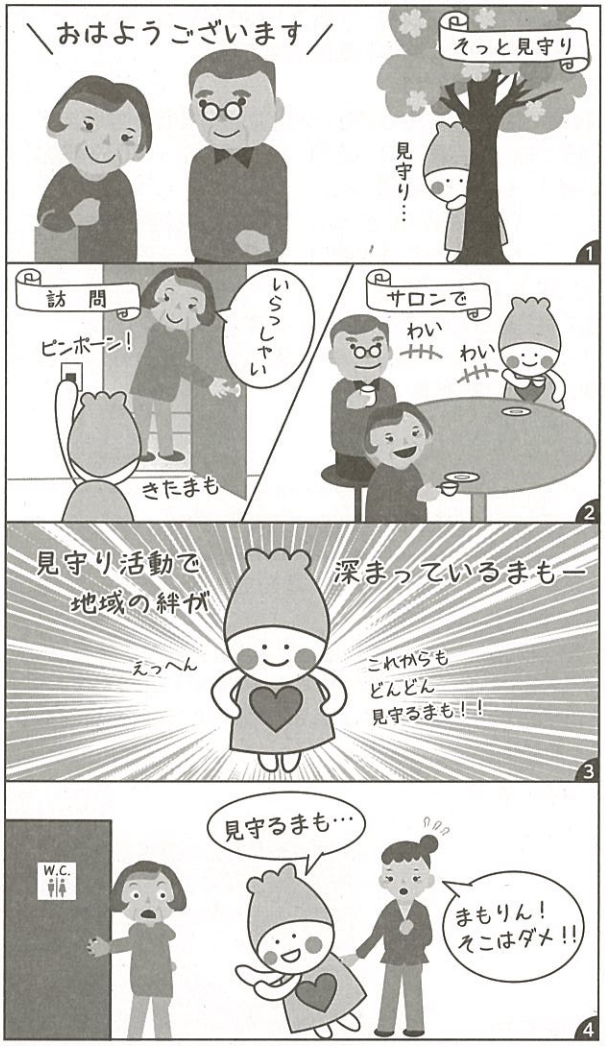
※上記以外は通常通り営業する予定です

問い合わせ:総務課

各課の問い合わせ先はP12をご覧ください。

# まんがでわかる！社協のしごと

まもりんの見守り活動




## 見守り訪問活動とは？

私たちが暮らす地域社会では、様々な変化が起こっており、その中でつながりを失って社会的に孤立する人が増えています。身近な市民がお互いに支えあっていく上でも「見守り訪問活動」の役割は重要となってきます。そこで、具体的なイメージを紹介すると、大きくは以下の4つに区分できます。

**●周囲からの見守り**

少し離れたところから、気になる世帯の玄関の新聞受けやカーテンなどの状況から、安否や生活状況を確認する取組みです。（基本的には、その方と直接、接することはありません。）

**●声かけ・あいさつ**

気になる人と会った時に、挨拶したり声かけを行う方法です。場面としては、街角やゴミステーションなどが想定されます。関係づくりの第1歩と言えます。

**●訪問**

直接、気になる方のお宅を訪問して、健康状態や生活状況などを確認します。時には、相談を受けることもあります。相手の状況を正確に把握できる活動と言えます。

**●地域の交流の場を通じて**

高齢者や子育ての方々等が集まる機会に、その場で、生活状況や安否を確認する方法もあります。

以上のような取組みを通じて、気になる人との関わりが一層深まってくると、軽易な日常生活支援にもつながっていく場合も考えられ、活動の発展に期待が持たれるところです。

なお、見守り訪問活動は、高齢者に限定されません。近年は、障がいのある方々が、施設から地域で暮らすことも多くなりました。また、児童虐待や児童を狙った犯罪も多発しています。

そうした意味でも、今後、ますます幅広い、見守り訪問活動が求められています。

この記事へのお問い合わせは
地域福祉係へ

# ヘルパーのしごと

## さわやかヘルプサービス（本会の独自サービス）もあります

利用者の生活に必要なサービスのうち、介護保険・障害者総合支援制度において対応が難しい場合、独自サービスとして『さわやかヘルプサービス』を提供しています。

対象者は基本的には札幌市内に居住し、本会の各種制度でホームヘルプサービスを利用しており、本会がサービスを必要と認めた方になります。

サービス内容として、介護保険制度では支援に制限のある同居家族がいる方への家事援助や入退院時に必要となる介助、または入院中の一時外出等に必要なサービスは、『さわやかサービス』。冠婚葬祭、墓参等の社会参加の外出やコンサート、理美容室等の外出、通学時の外出介助、制度で対応できない病院内の介助・見守り等に利用できる『さわやか外出』。自宅において身体に直接接触して行う『さわやか介護』があります。利用時間も30分から利用できるようになっています。

公的な制度では対応しきれない部分を『さわやかヘルプサービス』で補い、少しでも長く在宅生活が続けられるお手伝いになればと思っています。

この記事へのお問い合わせは
介護事業課へ

各課の問い合わせ先はP12をご覧ください。

# 札幌市社協応援企業のみなさん

## ～賛助会員企業として札幌市社協の活動を応援しています～


トーアレガートパレス

サービス付き高齢者向け住宅

- 増築しました（平成29年10月完成：1LDK12戸）
- 地下鉄南北線「北34条駅」から徒歩3分（交通至便）
- 24時間職員常駐の安心・安全・快適な住まい
- 月額利用料金　介護居室（1R:Aタイプ）188,300円
  （食費込み）　一般居室（1Rタイプ）138,300円～
  〃　（1LDKタイプ）236,600円～

※一般居室残り少なくなっています

入居相談・昼食付見学会
随時開催中
※昼食ご希望の場合は事前にお申し込み願います。

場　所　トーアレガートパレス
（北区北31条西4丁目3番18号）
※南北線「北34条駅」5番出口後方1分

申込先　0120-163-063

入居者募集中

資料請求・お問い合わせ先：（株）トーアいこいの杜　入居相談室（札幌市北区北31条西4丁目3番18号）0120-163-063

使ったデータに合わせてムダなし！

KDDI au　auピタットプラン

軽

軽自動車専門店クレタ札幌本店

軽オールメーカー 200台

お気軽にお問合せください。
(011)671-8383
札幌市手稲区西宮の沢5条2丁目11-3（旧YKK AP）

軽　クレタ　検索

札幌スパインクリニック
SAPPORO SPINE CLINIC

整形外科・リハビリテーション科
www.spineclinic.jp

地下鉄東西線 西18丁目駅⑥番出口直結

札幌市中央区大通西17丁目
札幌メディケアセンタービル3F
予約制（当日予約可）
011.623.5454

季節の行事・多彩なレクリエーション・天然温泉のある暮らし！

サービス付き高齢者向け住宅

ルルドの泉　平成28年7月開設

入居相談見学内覧
―随時受付中―

※事前に見学希望日のご連絡をお願いします。
※見学時の送迎ご相談承ります。

お問い合わせ・資料請求は
011-897-6610
〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条6丁目5-35

（施設概要）●入居要件／60歳以上自立・要支援・要介護 ●居室数／37室 ●募集室数／30室 ●開設年月日／2016年7月1日 ●構造／RC造1・3階地下1階建 ●利用料の支払い方式／月払い方式 ●利用料金／月154,740円～215,740円 ●交通／中央・JRバス「厚別中学校前」停徒歩6分 ●事業主体／（株）メディカルレイ

税理士法人
札幌中央会計

| | | | |
|---|---|---|---|
| 公認会計士 税理士 | 川崎毅一郎 | 税理士 | 梅津　太 |
| 公認会計士 税理士 | 水野　克也 | 税理士 | 松尾もえ子 |
| 公認会計士 | 桶谷　洋幸 | 税理士 | 佐々木一男 |
| 税理士 | 竹谷　展由 | 税理士 | 片岡　雅彦 |

〒060-0005　札幌市中央区北5条西6丁目2番地2
札幌センタービル24階
TEL（011）231-6118／FAX（011）231-6540

# ご寄附ありがとうございました

11月27日　株式会社芭里絵 様
11月27日　日本ハウズイング株式会社 様
12月 5日　札幌防犯健全協力会 様
12月 6日　「999人の第九」の会 様
12月12日　富永　敬康 様
12月15日　株式会社ツルハホールディングス 様
12月20日　株式会社ジャックス
代表取締役社長　板垣　康義 様
12月26日　宗教法人真如苑　北海道本部 様
12月26日　一般財団法人札幌信用金庫社会福祉基金 様
1月15日　フラワーショップ花れん 様
1月30日　北海道東急会 様

札幌防犯健全協力会 様

「999人の第九」の会 様

宗教法人真如苑
北海道本部 様

一般財団法人
札幌信用金庫社会福祉基金 様

北海道東急会 様

# 情報センター発

## イベントのご案内
## 親子のための絵本のよみきかせ会

【日　時】 4月25日(水) 10時30分～11時30分
【会　場】 札幌市社会福祉総合センター4階
視聴覚兼会議室
【参加費】 無料
【定　員】 親子20組(先着順)
※3月12日(月)申込受付開始

【予定内容】 NPO法人子育て応援かざぐるまさんが、絵本の読み聞かせと、絵本選びの参考になるお話をしてくれます。
【申込・問い合わせ】
情報センター資料室

## 福祉関係者におすすめの一冊
## 「介護職のための困りごと＆お悩み解決ハンドブック」

因　利恵 監修・著　　ナツメ社

日本ホームヘルパー協会が、ヘルパーの方たちに行ったアンケートをもとに、訪問介護サービスに関する悩みにアドバイス！！

利用者のお宅で判断に迷った時やトラブルが起きた際に、すぐに対応できるよう、具体的な事例を挙げて、わかりやすく解説します。

情報センターの利用案内・蔵書検索はこちらからご覧になれます。
URL http://www.lib-finder.net/sapporo-shakyo/servlet/Index

この記事へのお問い合わせは
情報センター資料室へ

社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会
問い合わせ先一覧

〒060-0042
札幌市中央区大通西19丁目1-1
札幌市社会福祉総合センター3階
電話 614-3345（代表）
FAX 614-1109

総務部
総務課・展示ホール…… 614-3345
経営財務課…… 614-3343
情報センター資料室…… 614-2001
社会福祉総合センター…… 614-2948
地域福祉部
地域福祉係…… 614-3344
生活福祉係…… 614-0169
札幌市共同募金委員会…… 614-3532

ボランティア活動センター… 623-4000
福祉人材研修係…… 623-0010
ほっ・とプラザ…… 623-4010
さっぽろ子育てサポートセンター … 623-2415
高齢者・障がい者生活あんしん支援センター
（権利擁護係・相談係）…… 632-7355
介護事業部
介護事業課…… 623-0001

施設福祉部
施設福祉係…… 614-1002
養護老人ホーム長生園…… 614-1171
札幌市保養センター駒岡…… 583-8553
地域包括部
地域包括課…… 623-4021
調査課…… 623-4022

中央区社会福祉協議会…… 281-6113
北区社会福祉協議会…… 757-2482
東区社会福祉協議会…… 741-6440
白石区社会福祉協議会…… 861-3700
厚別区社会福祉協議会…… 895-2483
豊平区社会福祉協議会…… 815-2940
清田区社会福祉協議会…… 889-2491
南区社会福祉協議会…… 582-2415
西区社会福祉協議会…… 641-6996
手稲区社会福祉協議会…… 681-2644

赤い羽根共同募金の助成金を受けて発行しています。

ホームページでもご覧になれます。
http://www.sapporo-shakyo.or.jp/

電子書籍ポータルサイト
「hokkaido ebooks」でもご覧になれます。
https://www.hokkaido-ebooks.jp/